

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873200780
法人名	社会福祉法人 寿山会
事業所名	グループホーム パラディ
所在地	今治市波方町樋口甲120番地1
自己評価作成日	平成20年6月22日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

理念を大切にし、利用者本位のサービスを提供できるよう取り組んでいます。医療と連携をとり、安全で安心して生活できるようにしています。地域の中で、地域密着型サービス事業所として地域の方々に親しみがあがり、なじんだホームとなるよう努力しています。ご利用者・地域・医療・職員の絆を大切に、ご利用者の生活の質の向上に努めています。

月1回、別法人の老人保健施設で実施される法話会で、お坊さんがお話をしてくれるのを、利用者は楽しみに出かけておられる。ご家族と相談しながら、年1回、日帰り旅行が楽しめるよう計画されている。東予市の休暇村に出かけた際には、ご家族とお風呂に入られた方もいる。家族会は、年3回開催されており、意見が出やすいということもあり、ユニット別で行っておられる。11月11日の介護の日にちなみ、11月8日(日)に、事業所ではフリーマーケットを開催し、地域の方に来ていただくことを予定されており、ご家族にも協力いただくことになっている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム パラディ

(ユニット名) 虹

記入者(管理者)
氏名 笠原 好美

評価完了日 平成21年 6月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念は開設当初、経営者・スタッフで考えて作ったものであり、理念を具体的に行動指針とし表し、地域で暮らし続けることへの支援も掲げている。職員は理念が身近なものとして取り組めるように、介護計画作成時理念を意識し作成しており、日々実践している。	
			(外部評価) 理念をもとに「出来ることを探そう・したいことを探そう・絆を大切にしよう・地域の中でともに暮らせる家づくり」と行動指針を掲げ、介護計画につなげて取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 開設5年を経て、ご近所づきあいが出来るようになった。野菜を差し入れてくれたり、草を刈ってくれたり、知人が入居しているからと、地域の方が訪ねてきてくれるなど、日常的に交流している。保育所行事に参加するときは、手作り作品をおみやげにもって行き、園児の喜ぶ顔を見て、元気をもらって帰ってくる。敬老会は、地域の一員として参加し、高齢の表彰をしてもらっている。	
			(外部評価) 事業所で開催された6月の「あじさい祭り」には、地域のボランティアの方も参加され、他事業所や地域の方も招いて、交流を深められた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域清掃に1回/年参加している。運営推進会を通して地域との交流を図り、1回/年、地元の多々良サロンで認知症の勉強会を開催した。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームの状況、行事、家族会、外部評価等の報告を し、それらに対する質問・意見等を出してもらって いる。5月にはメンバーの内、火災通報装置に登録し ている方々に避難訓練に参加して頂き、6月の会には、 消防署の方を招き、防災について講演会を開催し、避 難訓練の評価を共に行った。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は毎回テーマを決めて案内をされており、活発な 意見交換が行われている。今年度、民生委員の方がメ ンバーに加わり、行事時等の手伝いを申し出て下さっ ている。ユニットの居間で会議を開いた際、出席者よ り「利用者・建物の様子がよく分かってよかった」と の声があり、今後も続けていくことにされた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護保険やホームの事業関連の情報を得たり、担当者 来訪時には日常生活状況を知ってもらう等、行き来 する機会を作り担当者からの情報を活かし、サービ スの質向上に取り組んでいる。行事への案内をし、参加 して下さっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>波方町地域ケア会議には、法人の総括主任が出席し、 意見交換されている。会議の意見等は管理者に伝えて おられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>内玄関の施錠時間は、午後7:00~午前7:00と決めて おり、それ以外の時間は施錠せず、出入りが自由 になっている。職員の勉強会のカリキュラムに取り上げ ており、理解に努めている。又、日常的に気がつかな いうちに身体拘束を行っているか、スタッフ同士の 気づきをヒヤリハットにあげ検討している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は「待って」等、何気なく利用者に言っているこ ともあると感じておられ、職員同士お互いに気付いた ことは書き留め、拘束につながっていないか、話し合 われている。新人職員には管理者が指導される等、拘 束のないケアが実践できるよう取り組んでおられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員勉強会のカリキュラムに取り上げており、理解に努めている。又、日常的に虐待になっていないか、職員同士の気づきをヒヤリハットにあげ、些細なことも見逃さないようにしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 認知症実践者・リーダー研修の中には、カリキュラムとして入っている為、まずこの研修に行けるように調整している。現在活用している方はいないが、相談にいられた方で必要とされる方には、活用できるよう支援している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時・・・契約書に沿って説明。家族の思い・将来の不安・要望など、時間をかけて説明・聞き取りしている。解約時・・・解約になる前に十分な話し合いをしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ユニット別の家族会を開催し、なじみの職員や家族で話し合うことで、意見や希望が表しやすくなった。又、今年度より1回/年は家族だけで話し合う時間を設けた。 (外部評価) 家族会は、年3回開催されており、意見が出やすいということもあり、ユニット別で行っておられる。11月11日の介護の日にちなみ、11月8日(日)に、事業所ではフリーマーケットを開催し、地域の方に来ていただくことを予定されており、ご家族にも協力いただくことになっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			1回/月代表者は、管理者・ユニットリーダーを通して、職員の意見や提案を聞き検討し、運営に反映している。	
			(外部評価)	
			ユニット会等で、職員の意見を聞いておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			2回/年職務に対する自己評価をし、管理者と面接の時間を設け、その自己評価を代表者も把握している。行事のときの時間外手当の支給等、やりがいをもち働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			内部研修は、月毎にカリキュラムを組み実施している。外部研修は職員の希望を聞きながら参加できるようにしている。又、代表者は、資格を取るための研修も奨励している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			管理者は、研修を通じて他の事業所の取り組みを聞き、学びや気づきを当事業所に取り入れている。又、地域の同業者とも相互訪問の活動を通じて、情報を交換し、サービスの質の向上に努めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			こちらから足を運び、本人の意向をお聞きする。又は希望される方には来訪して頂き、実際に日常の様子を見て入居者と触れ合って頂き、本人自身から求めている事・不安な事等をよくお聞きし、家族との調整をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>サービス利用開始前に、あらかじめ家族の困っている事・不安な事・要望をお聞きし、利用開始からは面会時に情報を交換し合い、面会に来られない方には電話にて状況をお伝えし、信頼関係を築いている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に関連の施設・事業所・医療機関などの連携はとっており、必要に応じて調整はしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の生活歴を知り、各々のお得意だった事を支援する事で、職員は利用者から様々な生活の知恵を教わっており、共に生活し支えあう関係が築けている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>『絆を大切にしよう』の行動指針の元、家族を巻き込んだ生活支援を目標にしている。年に3回の家族会のうち2回は行事を共に行っている。又、本人の状況を知って頂き、本人の意向をお伝えし、家族と共に支えていく関係を築いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>隣の地区から入居者を訪ね、婦人会の方・近隣の方が気楽に遊びに来られたり、散歩の途中で会った知人と立ち話をする等、なじみの関係の継続に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>他事業所のデイサービスに通われている友人と会いたいと希望される方は、介護計画に揚げて支援されている。調査訪問時、利用者は、事業所内で提供する通所介護にいられていた利用者と、地域内のお知り合いの方の様子等をにこやかに話されていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 席の配置や作業の分担・さりげない声かけを行っている。中には気の合わない人もおられるが、職員が仲介し、その人の思いを傾聴し、利用者同士のトラブルにならないよう努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院され退居となった方のお見舞いに行ったり、利用者の手作りマスコットをプレゼントする等、関係性を大切にしている。必要に応じて、家族からの支援も受けている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人との日常の会話や面会時のご家族との会話から、本人の思いや暮らし方の希望・意向の把握に努めている。職員は気づきを記録に残し情報を共有し、カンファレンスやモニタリングで検討している。 (外部評価)	
			ご本人の生活歴や日々のかかわりや様子等から知り得た情報等から、行動指針である「できること・したいこと」を探り、介護計画に反映できるよう取り組まれている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人との関わりや、ご家族をはじめ面会に来られた方からの情報をもとにこれまでの暮らしの把握に努め、生活歴やなじみを大切にしながら暮らしを援助している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 本人の体調と生活リズムを把握し、その人に合った力の発揮が出来るようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			利用者毎に職員の担当者を決めており、本人の思いや家族の要望を聞き出し、本人本位の支援が出来るよう検討し、介護計画を作成している。利用者の状況が変化した場合は、その都度見直している。	
			(外部評価)	
			介護計画は、6ヶ月毎、又は、利用者の状況により3ヶ月毎に見直しをされている。モニタリングや評価は、毎月実施し、「生活・環境・身体・関係(人とのつながり)」等の項目でご本人の生活がよくなっているか評価されている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			介護者側の主観ではなく、事実を記録できるよう努めており、今年度より様式を見直し「気づき」「対応」「結果」の項目に分け、言動を主に記入し、状況や背景がわかりやすい様に工夫している。職員は出勤時には記録に目を通しサインし確認し、情報を共有している。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			地域のデイサービス・ケアハウス等 又、他施設との交流・地域での催し物に積極的に参加し、施設であれ生活に違和感のない支援に取り組んでいる。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			地域の図書館やスーパー・デイサービス・保育所等、地域資源を活用し、本人の楽しみを支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人・家族の望むかかりつけ医を把握し、支援してい る。現在は全員が協力医にかかっており、2回/月 協 力医療機関による回診を実施している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>協力医を受診されている。又、往診もあり、協力医以 外を受診される時は、ご家族が同行されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職場内に看護職員を2名配置しており、介護職員はか かわりの中の気づきを相談し、かかりつけ医へ報告・ 受診を行っている。休日や夜間の為の連絡経路図を作 成しており、適切な対応が出来るよう努めている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の入院時には職員が面会に行き、病院関係者や 家族と情報を交換し、ご本人が安心して過ごせるよう に努めている。又、早期退院にむけ、入院先のDr・ 家族・スタッフとの連携をとっている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>見取りの指針を作成し、契約時に家族に説明してい る。心身の状況の変化があった時は、早い時期から利 用者・家族・かかりつけ医と話し合い、手厚い医療行 為が必要になる直前まで対応している。地域の消防署 に連絡出来る様、電話番号を掲示している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>これまで看取りの事例はないが、ご家族の希望があれ ば支援できることを説明されている。職員は、終末期 ケアについての研修等にも参加されている。総括主任 は「安易な看取りは考えていない。看取りについて、 家族・職員・法人と話し合いながらすすめていき たい」と話されていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 現在6名の職員が救命講習を受けており、他の職員は今年度受講を予定している。年末に餅をつめたときの対応の施設内研修を行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練を2回/年行っており、地域の方に参加して頂いている。火災時の通報装置に近隣の方の電話番号を登録しており、協力体制は築けている。風水害時の対策マニュアルも作成しており、災害時の避難場所との契約を結んでいる。 (外部評価) 消防署の方より「いざという時は助けの人を集めることが先」とのアドバイスを受けて、火災通報装置に近隣の協力者を登録し、さらに増やしていくよう努力をされている。登録者は、避難訓練にも参加され、誘導等の役割もお願いされている。訓練を重ねる中で、消防署の方から「マンネリ化しないように」といろいろな訓練の方法を提案していただいた。	現在、夜勤職員が2ユニットで一人ということもあり、職員の不安もあるようだ。非常口が階段になっているため、スロープで安全に避難できるよう、法人代表に提案されている。今後も、さらなる安心安全に向けて、訓練を重ね、又、体制や設備等を整えていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者の誇りやプライバシーを大切に言葉かけや対応を心がけている。具体的に確認し合い、気づいた事は職員同士で共有している。 (外部評価) 職員は、気分の優れない利用者の方にも細やかに気を配り、やさしく対応されている様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常の関わりから本人の思いや希望を聞きだし、支援を行っている。又、表出出来にくい方にもわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得していただけるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	
			食事や入浴等、一人一人のペースを大切に支援している。出来る限りご本人の希望に沿った暮らしが出来るように、買物や外出の支援を取り入れている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	
			家族の協力の下、行きつけの美容室に行ったり、使い慣れた化粧品品の購入を支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	
			利用者の希望を聞き、旬の食材を取り入れ1週間毎の献立表を作成している。職員は利用者と共に、下ごしらえから調理・配膳・片付けまで、楽しくおしゃべりしながら行っている。刺身作りや漬物作り等は、利用者が職員に指導して下さっている。	
			(外部評価)	
			事業所では、旬の食材・地元の新鮮な魚を採り入れ、冷凍食品に頼らない食事作りをされている。利用者個々の嫌いな食材は把握しておられ、他のもので対応されている。持病のある方は、担当医師と相談しながら栄養士資格を持つ職員がカロリー計算されており、食の細かい方もおいしく食事が食べられるよう話し合い、調理に工夫されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	
			職員は水分量・食事量の把握をしており、状態に応じて支援の方法を検討し、個別の記入シートを作成し一日を通じて確保できるようにしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	
			毎食後の口腔ケアは支援できている。汚れや臭いが生じないように、1回/週は入れ歯洗浄剤にて対応している。又、口腔状態を把握し、歯科受診も行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 職員は一人一人の排泄のパターンを把握し、本人の自尊心を大切に、さりげなく声かけを行っている。又、排泄のタイミングを表情・言動から感じ取ることで、排泄の自立にむけた支援を行っている。日中オムツを使用している人はいない。 (外部評価) 入居時、紙パンツを使用されていた方が、排泄パターンを活かして支援し、パット等も併用しながら、じょじょに布パンツで過ごせるようになった事例がある。意思疎通のむづかしい方もおられるが、職員はご本人のサインを見逃さないようにされ、トイレに誘っておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 食事・水分・運動など、快適な排便に繋がるよう工夫はしているが、服薬しないと排便につながらない方もおられる。服薬は最低限に出来るように医療と連携をとり、調整を行っている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴時間帯は概ね午後となっているが、一人ひとりが希望する日・時間に入浴が可能である。気の合う利用者同士の入浴の支援も行っている。 (外部評価) 毎日入浴を希望される方は、毎日入浴されている。職員は、利用者の入浴の順番の希望にはなるべく沿うように努めておられ、利用者同士が声をかけ合って一緒に入浴されることもある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりのリズムやその日の体調に合わせて、休息をとって頂いている。消灯・起床の時間の決まりもなく、一人ひとりの生活習慣に応じ、安眠の支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋をファイルにつけて日常的に確認しており、処方の変更になったり、医療的な記録は色を変えて記入している。又、症状・処方の変化・変更は口頭の申し送りと連絡帳で共有する。又、薬の効果・副作用・相乗効果などは医師・薬剤師から説明を受け、情報共有できている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの生活歴を本人や家族から聞き出し、生活の中に取り入れ、活躍できる場面作りをし、張り合いや喜びを感じて頂けるよう支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 行事以外にも、ドライブ・喫茶・買物等個別での外出支援を行っている。又、家族とご自宅や食事に出かける事もある。	
			(外部評価) 月1回、別法人の老人保健施設で実施される法話会で、お坊さんがお話をしてくれるのを、利用者は楽しみに出かけておられる。ご家族と相談しながら、年1回、日帰り旅行が楽しめるよう計画されている。東予市の休暇村に出かけた際には、ご家族とお風呂に入られた方もいる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族の了解の下に本人が自由に使えるように、小口で出したり預ったりしている。本人がお金を自己管理している方もおられる。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話はいつでもかけられる。手紙は年賀状・暑中見舞いを書く事で、絆を大切にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) トイレ内と食堂に遮光カーテンを設置し、光や温度の不快に配慮をした。玄関・居間・食堂には季節の花を飾り、壁には利用者の作品や写真を掲示しており、それについて回想し、話し、思い出すことが安心につながっている。	
			(外部評価) 玄関には、利用者の活けたお花が飾られていた。建物の中庭はウッドデッキになっており、洗濯物を干したり草花の鉢も置かれていた。昼食後、一人でくつろぐ利用者の姿も見られた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 一人ひとりの関係性を把握しており、ソファやイスの配置に気を配り、心地よく過ごして頂ける様、共用の空間作りにも工夫している。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) テレビ・仏壇の他、ご家族の写真やお気に入りの人形や時計を持ってこられている。又、季節の花をご自分で生け飾られたり、居心地の良い環境で過ごせるよう工夫している。遠方から来られた家族は、居室に泊まることも出来る。	
			(外部評価) 仏壇やタンス・テレビ等を持ち込まれている居室もあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 居室内は、一人ひとりの身体機能を把握し家具を配置しており、安全で自立した生活が送れるよう工夫している。又、職員は混乱や失敗を防ぎ、自立した生活が出来様に気づきを検討している。	
			(外部評価)	